

群馬歴史資料継承ネットワーク（ぐんま史料ネット）は2020年（令和2）7月に設立され、群馬県および近接地域で活動しています。災害に直面した経験から、歴史資料を守るために発足したのではなく、いわゆる「予防ネット」として誕生しました。

○ネットワークの拡充

- ・WEB版ぐんま史料ネット通信『DARUMA』
- ・HPの整備と運用
- ・SNSの活用



○文化財シェルター

- ・玉村町文化財シェルター
 - ・資料保全セミナーの企画
- ## ○資料所在調査
- ・未調査資料情報の収集



①情報プラットフォームの整備

「予防ネット」の確立

ぐんま 史料ネット の挑戦

②非常時想定活動

に向けた4つの活動

③調査研究活動

○地域資料防災の総合的研究 (群馬県立女子大学との連携)

- ・『ぐんま地域文化遺産フォーラム2023記録集』
- ・『群馬学研究 KURUMA』
- ・ぐんま地域文化遺産フォーラムの企画



④普及・啓発活動

○大字誌活動

- ・大字誌プロジェクトの実施（東上野ベースを発足）
- ・『大字誌 角淵』の活用

ホームページにて会員限定で全文公開中!



最近の動向

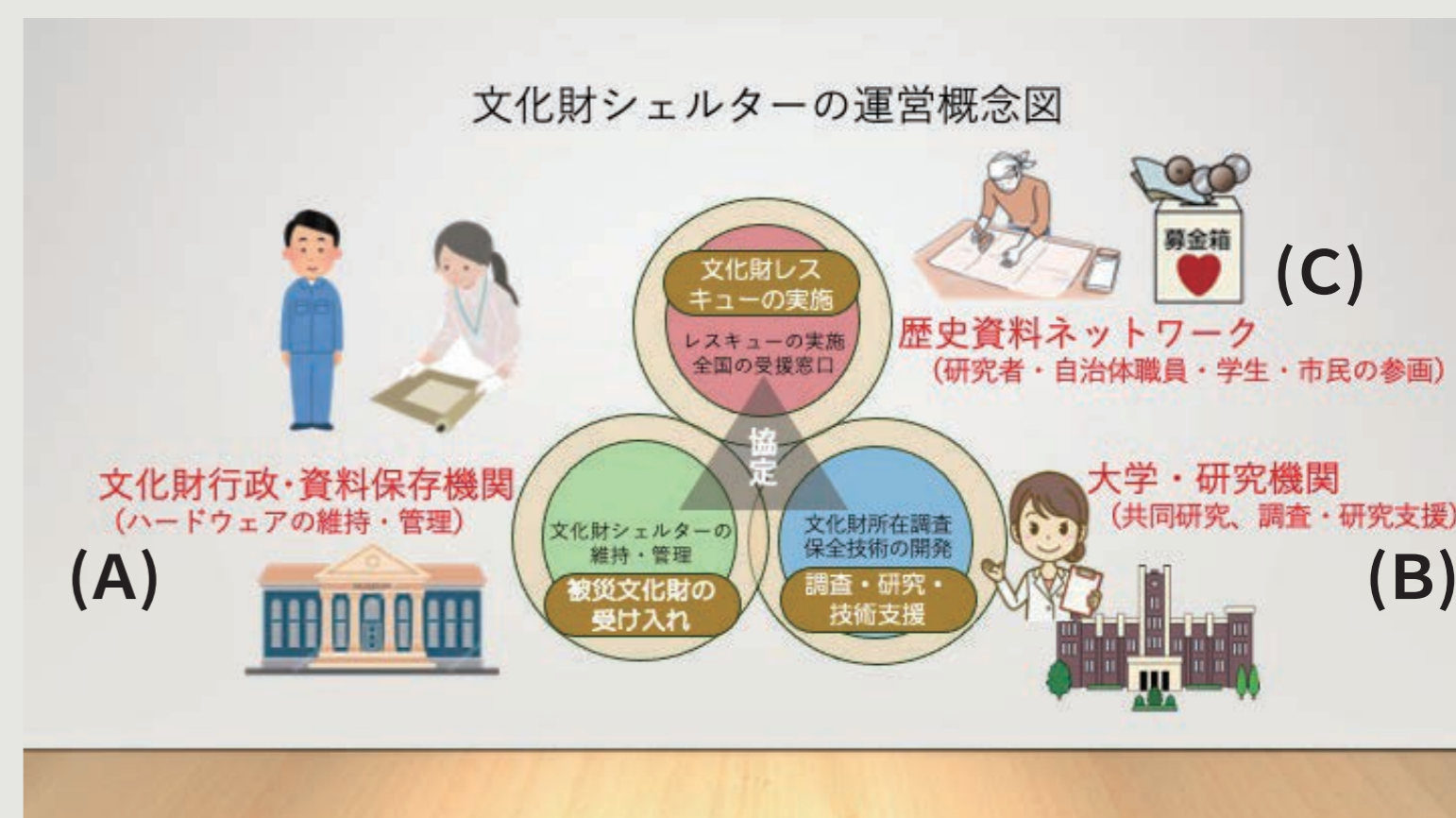
○文化財シェルターの三者協定締結

文化財シェルターを整備・運営していくための協定を、(A) 玉村町、(B) 群馬県立女子大、(C) ぐんま史料ネットの三者で締結しました。

自然災害により被災した文化財の一時避難や、保全作業を行うためのシェルターに関するもので、行政範囲に捉われず文化財を「地域」共有の財産とし、後世に継承していくことを三者が連携し目指すものです。

○地域資料防災の総合的研究

- ・歴史文化資料保全首都圏大学用議会「群馬県域における資料保全・継承の現在」に参加



【団体情報】

事務局：群馬県佐波郡玉村町上之手 1395-1

群馬県立女子大学 群馬学センター 築瀬大輔研究室

現会員数：220人（2024年12月）

入会方法：入会金・会費無料

入会フォームより申込み

